

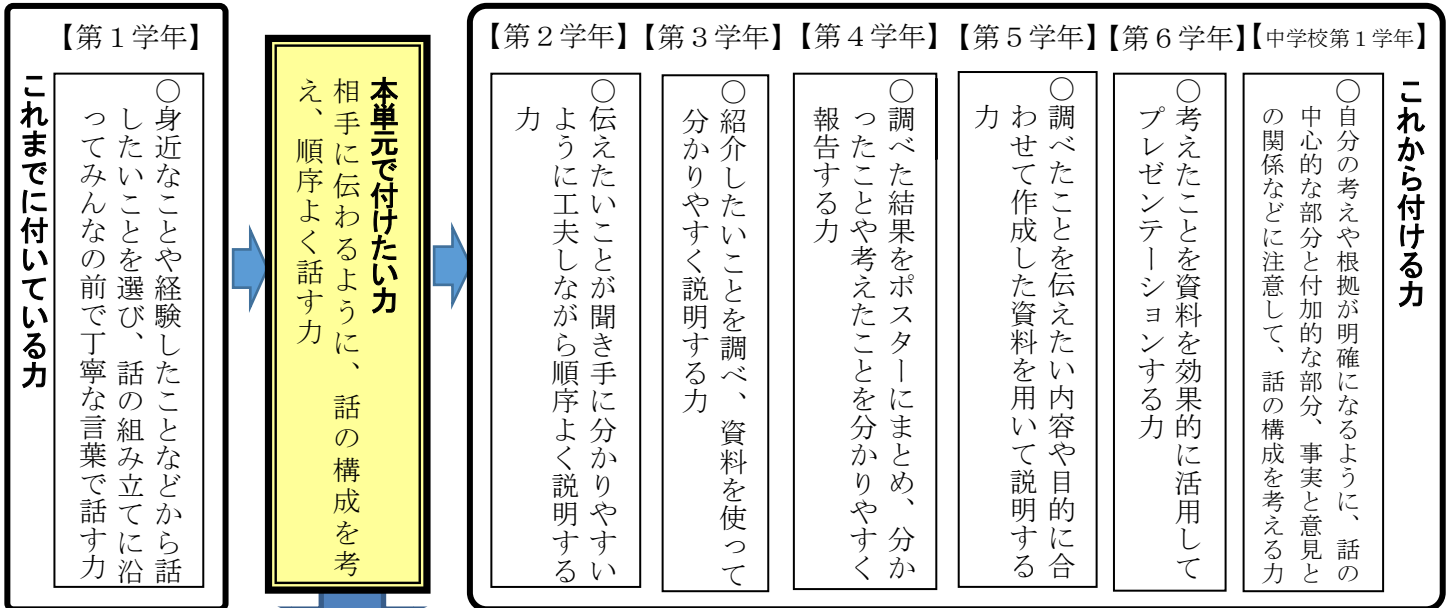
第1学年 国語科学習指導案

授業者：大石 美樹（1年1組）

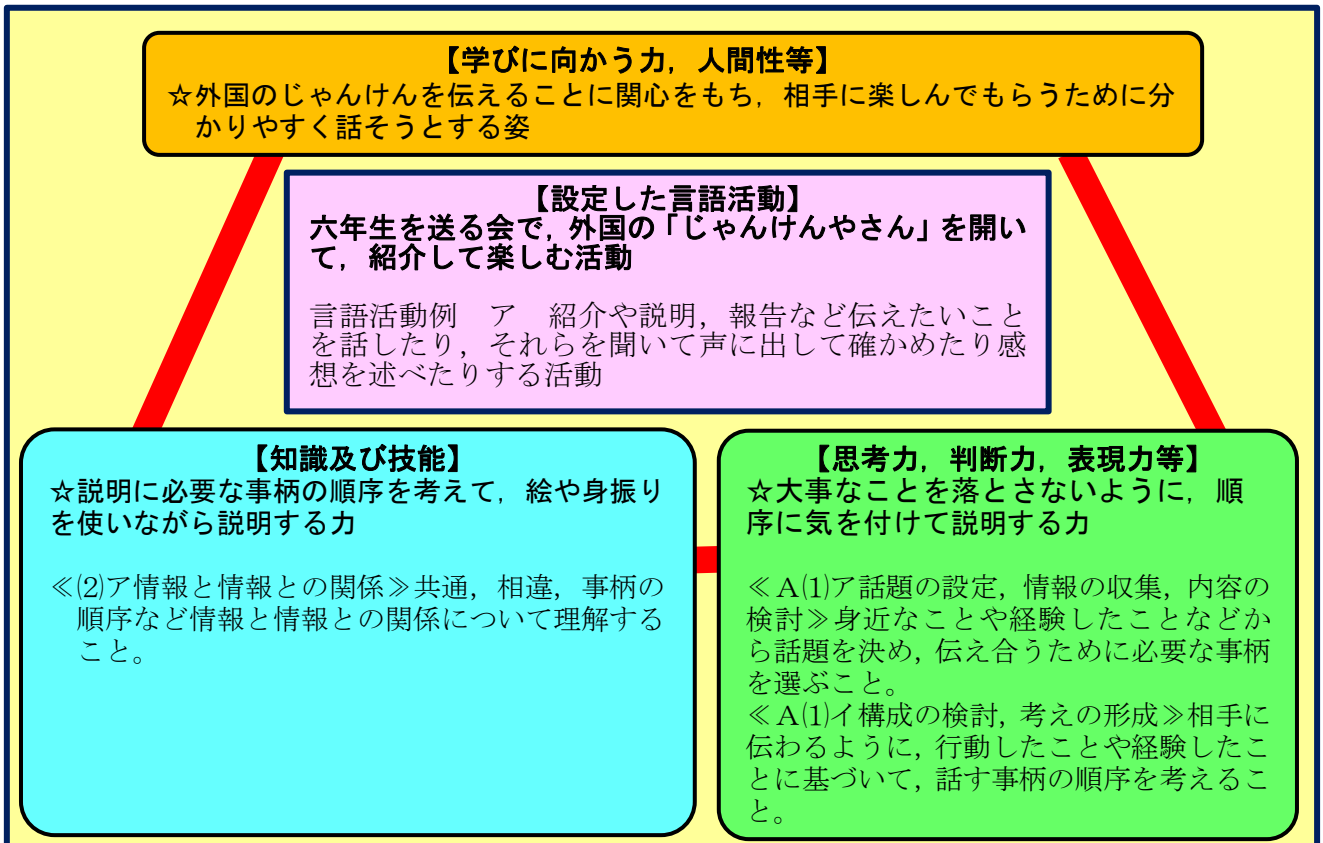
【2019年度 研究テーマ】 学びに熱中する子どもの育成
 —「見方・考え方」を働かせて、学びを深める国語科授業づくり—

- 1 単元名 「じゃんけんやさん」をひらこう
 教材名 「じゃんけん」（東京書籍 1年下）

2 単元の系統性 A 話すこと・聞くこと



3 本単元で付けたい【資質・能力】と設定した言語活動



4 単元について

(1) 児童の実態

学習意欲があり、どんな学習にも楽しみながら進んで取り組む児童が多い。しかし、話すことにおいては、自分の考えや思いを積極的に言いたい児童と消極的な児童とに分かれている。また、伝えたいことが簡潔に話せなくて相手に伝わらないことも多い。基本的な文型（主語と述語）を使った丁寧な言い方や姿勢や口形、発音等、これまでに学習してきたことを使って話せるように、その都度確認しながら学習を進めている。また、発問や指示の内容をしっかりと聞き取ることに課題がある児童も多い。指示等を簡潔に伝えたり、黒板に提示し見て進められるようにしたりといった工夫をしながら、「聴き方」の指導も日常的に行っている。

(2) 教材の特性

本教材は、「話すこと・聞くこと」の「説明・報告」の系統として位置付けられている。そこで、ALTの先生との交流をきっかけにして、六年生を送る会で六年生に外国のじゃんけんを説明して一緒に楽しむという活動を設定した。じゃんけんは、子どもたちを取り巻く環境がどのように変わっても、変わることなく伝承されている不思議な魅力をもった遊びである。また、何かを決定する方法の一つとしても使われている。前単元の「いろいろなやりかたをくらべてかんがえよう～歯がぬけたらどうするの～」で学んだ力等を活用して、遊びや生活の中で慣れ親しんでいる日本のじゃんけんと比べながら、外国のじゃんけんについて調べたり考えたりする。興味ある外国のじゃんけんであっても、六年生がその仕組みを理解できなければ遊ぶことはできない。六年生に分かるように説明して一緒に楽しみたいという児童の思いから、説明に必要な事柄を順序よく話すことの必然性を感じ取ることができる教材であると思われる。

(3) 指導の文脈

本単元は、調べた外国のじゃんけんのお店を開いて、大好きな縦割り班の班長さんたち六年生と一緒に楽しむという単元のゴールを設定した。相手意識や目的意識をより強くもって、自ら進んで活動に取り組むことが期待できる。

一次では、学習の見通しを立てる活動として、じゃんけんのどのようなことを説明したらよいのかについて、学習したことをもとに児童から引き出し、単元の全体像を押さえるようにする。外国のじゃんけんを調べたり決めたりする際には、前単元「いろいろなやりかたをくらべてかんがえよう～歯がぬけたらどうするの～」で身に付けた「文章を読んで似ているところや違うところを見付ける力」「文章の内容と自分の経験を結び付けて、お気に入りのやり方を見付け伝える力」を意識的に活用できるようにしたい。日本のじゃんけんと似ているところや違うところを考えることで、説明に必要なことは何かについてもより明確になるのではないと思われる。

二次では、説明する内容のまとめりごとに説明原稿を書きながら、説明する練習をするようにしたい。一年生という発達段階や児童の実態を踏まえて、スモールステップで練習を積み重ねていくことで全員の児童が自信をもって説明できるようにしたいと考える。説明の初めには、「どこの国のじゃんけんなのか」、「何でじゃんけんするのか」について大事な言葉を落とさないように原稿に書かせる。次に「勝ち負けの仕組み」については、絵をもとに原稿を書いたり、絵を指し示しながら説明したりすればよいことに気付かせたい。さらに、「じゃんけんのやり方」については、絵をもとに身振りを使うことでより分かりやすいということにも気付かせるようにしたい。説明の練習をする際には、話し手と聞き手の両方を体験してアドバイスし合うようにする。既習の姿勢や声の大きさ、発音や速さ等についても意識できているか確認したい。

三次の六年生を送る会本番の後の振り返りでは、六年生からの感想やアドバイスを聞き、伝えたいことを話すために大切なこととしてまとめ、学習貯金として残しておくようにする。

5 単元の目標と評価規準

(1) 単元の目標 外国のじゃんけんの仕組みや遊び方について、聞き手に伝わるように、順序よく説明することができる。

(2) 単元の評価規準

【知識・技能】	【思考・判断・表現】 《話すこと・聞くこと》	【主体的に学習に取り組む態度】
○説明に必要な事柄の順序を考えて、じゃんけんの絵や身振りを使いながら話している。 《(2)ア情報と情報との関係》	○「話すこと・聞くこと」において、自分の興味ある外国のじゃんけんの仕組みを理解して、三つの観点に即して、説明に必要な大事なことを選んでいる。《A(1)ア 話題の設定、情報の収集、内容の検討》 ○「話すこと・聞くこと」において、外国のじゃんけんを伝えるために、大事なことを落とさないように順序に気を付けて説明している。 《A(1)イ 構成の検討 考えの形成》	○聞き手に伝わるように、絵や身振りを使いながら、大事なことを順序よく話そうとしている。

(3) 単元の学習内容と評価規準（全9時間）

単元名 いろいろなやりかたをくらべてかんがえよう **教材名** 「歯がぬけたらどうするの」

- ・文章を読んで似ているところや違うところを見付ける力
- ・文章の内容と自分の経験を結び付けて、お気に入りのやり方を見付け伝える力



	学習内容 児：見方・考え方を成長させる姿	知・技	思 判 表	態 度	評価規準 【評価方法】
0 次	(学級活動) ・ALTのショーナ先生と外国語のじゃんけんなどで交流する。 児：他の外国のじゃんけんってどんなやり方なのかな。				
一 次	第1時 ・前時の交流から、「じゃんけんやさん」を開き外国のじゃんけんを六年生に分かるように説明するという学習課題を設定し、学習の見通しを立てる。 児：六年生と外国のじゃんけんを楽しむためには、何でじゃんけんして、勝ち負けはどうやって決まるのか調べなくちゃ。		○		○外国のじゃんけんを説明するために必要な事柄や図に気付いている。 【行動観察・発言・ノート】 ≪ A(1)ア話題の設定、情報の収集、内容の検討≫
二 次	第2・3時 ・興味ある外国のじゃんけんについて調べる。 ・教材文を読み、日本のじゃんけんの仕組みについて、「使うもの」「勝ち負けの仕組み」「身振り」という観点で確かめる。 児：外国のじゃんけんについても、三つのことについて調べることができたよ。		○		○自分が興味のある外国のじゃんけんの仕組みを理解して、三つの観点に即して、説明に必要な大事なことを選んでいる。 【ノート・行動観察】 ≪ A(1)ア話題の設定、情報の収集、内容の検討≫
三 次	第4時 ・説明の初め（国名、何でじゃんけんするか）の原稿を書いて練習する。 児：まず初めに、どこの国のじゃんけんか、じゃんけんを何でするか言わないといけないよね。		○		○外国のじゃんけんを伝えるための大事なことを落とさずに原稿を書き練習している。 【原稿・行動観察】 ≪ A(1)イ構成の検討、考えの形成≫

設定した言語活動

「じゃんけんやさん」を開いて、外国のじゃんけんについて六年生に分かりやすく説明する活動

付きたい力

相手に伝わるように、話の構成を考え、順序よく話す力

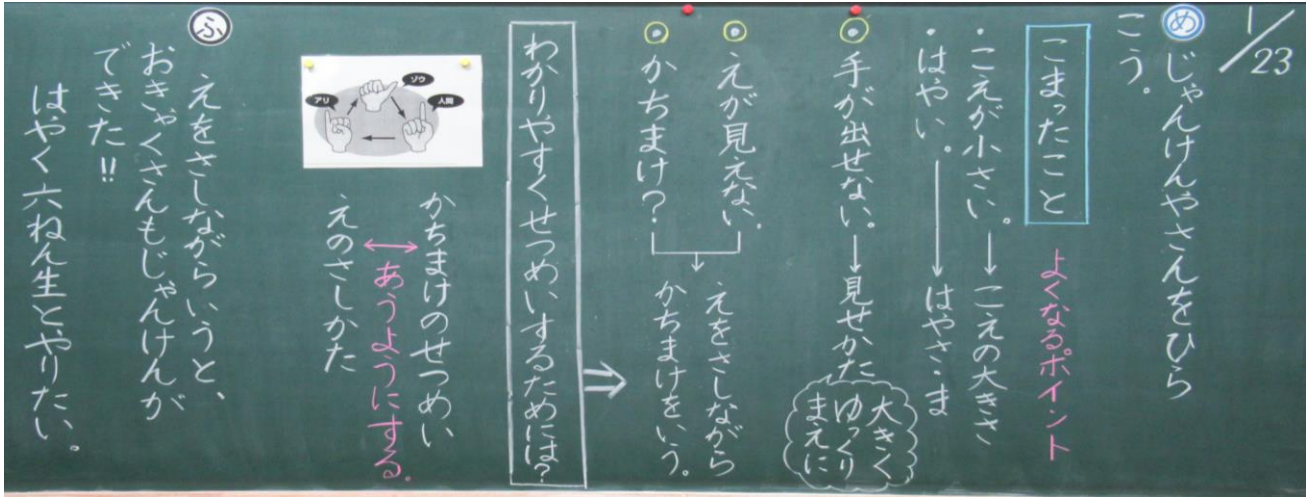
<p>第5時 ・説明の中（勝ち負けの仕組み）の原稿を書いて練習する。 児：何が何に勝つか話す時に、絵の矢印の順番に説明したら分かりやすいんじゃないかな。</p>	○			<p>○じゃんけんの勝ち負けの仕組みについて、絵と関係付けながら原稿を書き練習している。 【原稿・行動観察】 《(2)ア情報と情報との関係》</p>
<p>第6時 ・説明の終わり（やり方）の原稿を書いて練習する。 児：じゃんけんのやり方は、言葉で説明するだけでは分かりにくいので、どのように体を使ってやるのか、練習しておこう。</p>	○			<p>○じゃんけんのやり方の原稿を書き、身振りをしながら練習をしている。 【原稿・行動観察】 《(2)ア情報と情報との関係》</p>
<p>第7時（本時） ・説明の練習をする。 児：絵を指しながら説明したり、じゃんけんのやり方をやって見せたりしたら、友達や先生と楽しくじゃんけんをすることができたよ。</p>		○		<p>○絵や身振りを効果的に使いながら、大事なことを順序よく話す練習をしている。 【行動観察・発言・原稿】 《A(1)イ構成の検討、考えの形成》</p>
<p>第8時 ・「じゃんけんやさん」を開く。 児：大事なことを抜かさず、順番に説明したので分かってもらえて、一緒にじゃんけんができたよ。</p>			○	<p>○聞き手に伝わるように、絵や身振りを使いながら、大事なことを順序よく話そうとしている。 【発表】 《主体的に取り組む態度》</p>
<p>第9時 ・単元の学習を振り返る。 児：伝えるために必要なことを選んで絵や身振りを使いながら順序よく話すことは、いろんな場面で大事な。</p>	○			<p>○聞き手に分かりやすく順序よく伝えるために、大事なことを選んだり図や身振りを効果的に使ったりできたか振り返っている。 【発言・ノート】 《(2)ア情報と情報との関係》</p>

【単元で育成した資質・能力の活用】
○聞き手に説明するために必要なことを選び、分かりやすく伝える工夫をして順序よく話すこと。

6 本時の学習

- (1) 目標 聞き手に分かりやすく説明するために大事なことを理解して、説明に使う図や身振りを効果的に使いながら練習することができる。
- (2) 問うべき問い 「勝ち負けの仕組みややり方をもっと分かりやすく伝える工夫はないかな？」
- (3) 評価規準 ○絵や身振りを効果的に使いながら、大事なことを順序よく話す練習をしている。

【行動観察・発言・原稿】



学習活動

○教師の手立て

★評価規準

1 「じゃんけんやさん」を開く。

○聞き手（先生）の前で説明して、うまくじゃんけんができるか試すようにする。

「じゃんけんやさん」をひらいて、うまくせつめいできるかためしてみよう。

2 「じゃんけんやさん」を開いて、うまくいかなかったこと・困った点について出し合い、改善点について話し合う。

○既習の話し方（姿勢・声の大きさ・速さ等）については掲示物で確認する程度で、説明で使う図や身振りの効果的な使い方を中心に考えさせる。

【問うべき問い】

「勝ち負けの仕組みややり方をもっと分かりやすく伝える工夫はないかな？」

3 友達どうして説明の練習をし合い、工夫について確かめる。

○練習のポイントを全体で確認した後、グループごとに練習させる。

◎説明の大事な言葉を抜かさずに、順序よく話す。

じゃんけんの勝ち負けの仕組み ①勝ち負けの説明 ②理由

・絵をうまく使う。（絵の↓の順番に沿って、指し示しながら説明する。）

じゃんけんのやり方 ①このように ②動きの説明

・身振りを見せる。（説明と同時に体を使って見せる。）

★絵や身振りを効果的に使いながら、大事なことを順序よく話す練習をしている。

【行動観察・発言・原稿】

4 「じゃんけんやさん」を開き、考えた工夫で分かりやすい説明になったか確かめる。

○初めに聞いてもらった先生に再度説明してじゃんけんをし、コメント（分かりやすくなったか）をもらうようにする。

5 振り返りをする。

○一回目の練習と最後の練習とを比べてよくなったところと足りないところをはっきりさせて、次時につなぐようにする。

◎本時の学習で国語的な見方・考え方を働かせている姿とは？

外国のじゃんけんを聞き手に分かりやすく紹介するために、「じゃんけんの勝ち負けの仕組み」と絵を関係付けて勝ち負けの二者関係とその理由を説明する姿、「じゃんけんのやり方」と身振りを関係付けて「このように」などの指し示す言葉と動作を表す言葉を使って説明する姿。